公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 2026年度 基本方針	
財政局　局長　菊地　俊之	
現状把握	メンバーの在籍年数が短期化し、専門知識の不足から公益法人としての責務の遂行に支障をきたす懸念が生じています。加えて、情報社会の進展に伴い、コンプライアンスに関するリスクも顕著となっています。このような状況下において、組織の存在意義を明確にし、公益法人の構成員としての責任を自覚することが不可欠となっています。
局 設置背景	なし
局 概要	1.財政コンプライアンス審査会議の実施
	各事業の予算及び決算を公平かつ適正に審査するとともに、費用対効果や支出の妥当性を精査します。さらに、法令や規則の順守に加え、社会的規範や倫理をも考慮した審査を行うことで、財政面とガバナンス面の双方から健全で信頼性の高い組織運営を確立します。
	2. コンプライアンス意識統一事業の展開
	規範の共有と意識の統一を図り、組織全体におけるガバナンスを一層強化します
	3. 公益法人の責任自覚に関する事業の展開
	関係省庁から認められた公益法人としての役割と義務を再認識し、メンバー一人ひとりが責任を自覚することで、誇りを有する組織の形成を推進します
局による LOM支援の 実施内容	なし
1年間の成果	強固な財政基盤と確立されたブランド力を基盤として、責任と誇りを体現する活動を展開し、地域社会に対して継続的かつ実効性のある影響を与える組織としての地位を確立します。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 2026年度 基本方針	
事務局　局長　塚越　蓮	
現状把握	会議運営の円滑さを確保しつつ、運動を最大限展開していくには、効果的なプロモーションが必要不可欠です。
局 設置背景	なし
局 概要	2.厳粛な諸会議の設営・運営
	公益組織としての厳粛な諸会議運営を行うために、私たち役員一人ひとりが職務を明確に理解することで各LOMのガバナンスの強化と会議運営の基盤を構築します。
	2. 各諸会議の円滑な進行
	各諸会議の円滑な運営のために、徹底的な事前準備及び確認、迅速な対応により、実りある会議となります。
	3. 迅速な情報収集と提供
	各LOM及び、日本青年会議所、関東地区協議会、会議体・委員会への迅速な情報取得または提供を行うために、情報の事前取得及びファイルの整理を徹底することで、更なる迅速な対応が可能となります。
	4.　持続可能な運営体制
	少人数LOMからでも私たち運営に関わる人財の排出をしやすくするために、運営業務の効率化とフォーマット化を強化することで、出向者に対する印象を向上します。
局による LOM支援の 実施内容	なし
1年間の成果	ガバナンスが強化された円滑な会議運営、また迅速な情報提供機関であるとともに、業務軽減及び効率化された運営が持続可能な事務局運営につながります。また、各事業の集客に十分寄与できる広報機関であるために、各種媒体の定期的な運用及びフォロワーを獲得。人のためにスピーディーに、自分よりも人のために動ける人財となります。